

# みんなで乗って支えよう！ オンデマンドバスと路線バス



町内、町外の乗降ポイントを結んで走るオンデマンドバス

車を運転できない高齢者や子どもなど、いわゆる交通弱者に対する移動手段の確保と、近くにバス停がなく、路線バスを利用できない交通空白地区の解消をめざして実証運行を開始した中井町オンデマンドバス。平成25年1月の運行開始から3年が経過し、その存在は多くの方々に知られるようになりました。しかし、さまざまな町民のニーズに応えた輸送や本格運行に移行するためには、まだまだ多くの課題を抱えています。

町では、オンデマンドバスの利用実態、利用者ニーズ、費用対効果、代替交通の可能性など、総合的、多角的な検証を行いながら、地域事情に最も適した交通手段について、引き続き検討を行っていきます。

問合せ 企画課 地域創生班 ☎(81)1112

## オンデマンドバス

オンデマンドバスとは

路線バスはあらかじめ決められたルートとダイヤによって運行し、バス停をつないで最終目的地まで運行します。

一方、オンデマンドバスはルートやダイヤが決まっていません。路線に関係ない移動にも対応し、しかも自分の都合に合わせて予約をすることができます。

### 運行計画の見直し

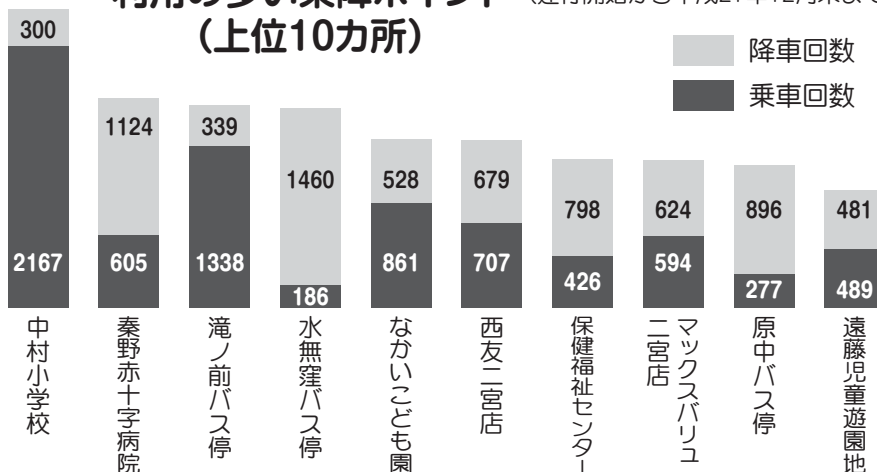
利用者のニーズに合わせて少しずつ運行内容を見直しながら実証運行を進めてきました。しかし、町民の皆さんにとって本当に使いやすい、持続可能な交通手段として今後も継続していく必要があるのかは慎重に検討していかねばなりません。

### 利用のない乗降ポイント

- 足柄上消防署中井出張所
- 中井美化センター
- 富士見台ふれあい農園
- 井ノ口第一青少年広場
- 関ノ上小公園
- 久所入口バス停
- 松本下GS 2-4
- 藤沢GS 14-4

### 利用の多い乗降ポイント (上位10カ所)

(運行開始から平成27年12月末まで)



使いやすいオンデマンドバスへ  
町内に121カ所あるオンデマンドバスの乗降ポイントですが、なかには一度も使われたことのない場所もあります。

もっと身近に、もっと使いやすい交通手段となるために、利用者の要望に合わせて一度も使われたことのない乗降ポイントに代わって新しい乗降ポイントを設定していきます。

効率的な運行を目指して

今まで、日常生活に必要な食料品、生活雑貨など買い物物の移動が町内で十分に行えなかったことから、近隣市町の商業施設を乗降ポイントに設定してきました。

今後は、町内の商業施設のオープンを合わせて乗降ポイントを追加し、乗り合い率を高め、効率的な運行を目指します。また、定時巡回方式の運行もあわせて検討していきます。



○予約件数制限の変更

10件 →

Free



最多10件だった制限をなくしました。

○予約受付時期の変更

通院や習い事など、他の予定に合わせてバスの予約が行えるよう、予約の開始時期を30日前に拡大しました。



30日前~可能



これまでの見直し

~利用者のニーズに合った運行を目指して~

中井町オンデマンドバスは、実証運行を開始してから、次のように運行の見直しを図ってきました。

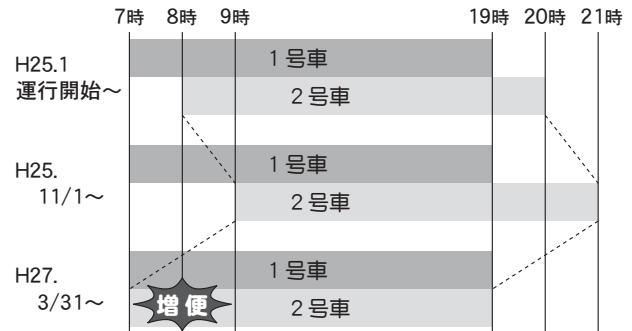
今後も、利用状況を踏まえながら運行の見直しを図っていきます。

○運行日の変更

毎日 → 平日 (土日祝日休止)

土日祝日の利用者が少ない一方、平日は利用が集中する時間帯に予約がとれない利用者が増加している状況から、土日祝日を運休し、平日の運行を強化しました。

○運行時間の変更



平成25年11月1日より夜間の需要を把握するため運行時間を延長しましたが、予約は少なく、朝の時間帯に予約がとれない利用者が増加したことから、平成27年3月31日より朝の時間帯の運行を拡充しました。

○予約受付時間の変更

1時間前 → 30分前

通院や買い物の帰りなど、乗車する時間が直近でないといけない場合などに対して、気軽に予約いただけるよう、当日乗車希望時間の30分前から予約ができるようにしました。

○乗降ポイントの追加

境地区の路線バス減便に対応するため、次の乗降場所を増やしました。

小原(乗降番号125)：他に代替交通手段のない乗降場所

畑中(乗降番号126)：乗継拠点



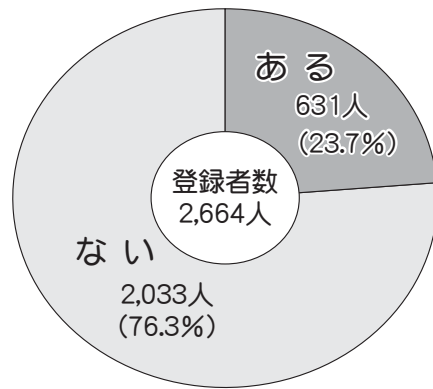
## 未利用者が約8割

オンデマンドバスを利用するためには事前の登録が必要です。

登録していただくことで、スムーズな予約と、適切な運行管理ができます。

しかし、図のように登録後、実際に利用されている方は、登録者全体の2割強。多くの方が、登録しても一度も利用したことがありません。

## 利用したことがありますか？



(平成27年12月末現在)

## お試し前払券を無料配布します

便利で、安心、快適な町民の足として多くの方にオンデマンドバスを利用していただけるよう、お試し前払券(1,000円分)を無料配布します。

また配布の際は、アンケートにご協力ください。  
詳細は下記のとおりです。

## 乗って実感しよう！便利なオンデマンドバス

# 無料で配布！ オンデマンドバスお試し前払券

### 対象者／

- ①町内在住の方
- ②中井町オンデマンドバス利用登録者または利用登録希望者
- ③利用者アンケート(配布時・終了時)にご協力いただける方

### 注意事項／

- ①お試し前払券の配布はお一人様につき、1セット(1,000円分)限りとなります。
- ②配布を希望する方は、利用登録者カードを持参してください。
- ③利用登録を希望する方は、登録の申込用紙を記載していただいた上で、配布します。
- ④未成年の方は、保護者の同伴が必要となります。
- ⑤配布部数には限りがありますので、あらかじめご了承ください。

### 配布期日／

3月14日(月)～25日(金) 8:30～17:15 (土日祝日除く)

【優先配布】3月14日(月)～16日(水)までは、町内在住の65歳以上の方、中学生以下の方、または町が定める交通不便地区(古怒田・鴨沢・松本地区)にお住まいの方に限ります。

【一般配布】3月17日(木)より、上記以外の方も対象となります。

配布場所／中井町役場庁舎2階 企画課(オンデマンドバス受付窓口)

※郵送や他の公共施設での配布は行いません



### 購入もできます

前払券(1,000円分・1,500円分)は、神奈川中央交通(株) 秦野駅前サービスセンター(☎0463(81)1802)において、3月14日(月)から有償販売も行います。

## 路線バス

### 本当になくなっていいの？

路線バスが廃止されても、車があるし移動には困らない。交通弱者に對しては、町が移動手段を確保してくれるだろうと簡単に考えていませんか。

路線バスは、乗客の有無に関わらず決まった時刻、決まったルートを安全に走行する環境にもやさしい乗り物です。しかも、1年365日早朝から深夜まで、多くの人の移動を支える役目を担っています。



昨年開通した比奈窪バイパスを走る路線バス

また、土地や建物物件の情報には学校や買い物施設と並んで、現地までの交通手段が表記されています。バス停の有無は、その地域や町の価値、魅力にも大きな影響を与えます。

**乗って支える公共交通**

平成27年3月に町内を走る路線バスのうち、高尾く比奈窪間と藤沢く日立システムズ間が廃止となりました。

また、秦野駅北口く万年橋間の震生湖経由の路線も、朝夕の1往復便を残し、大幅な減便となりました。

一旦、廃止や減便になったバス路線の復活は簡単なことではありません

ん。今あるバスをこれ以上減らさない、今利用している人の交通手段を奪わないためにも、みんなでバスに乗って支えましょう。

**比奈窪バスターミナルの環境改善**

二宮駅・国府津駅と秦野駅を接続する比奈窪バスターミナルについては、バスの乗り継ぎが悪いという利用者の声が聞かれます。

比奈窪バイパスの開通に伴い、バスターミナルについても利用しやすい場所への移設の検討や、乗り継ぎの改善についても、今後協議を進めていきます。

**利用促進**

**利用促進に努めています**

公共交通の利用を呼びかけるため、ポスターやDVDを作成しています。オンデマンドバスの乗り方、しくみを分かりやすく紹介したDVDは、町のホームページでも見ることができます。



**Q & A**

**Q**：どうして自治体が財政負担までして、公共交通を支えるの？

**A**：社会基盤として充実すべき公共交通だからです。

【解説】道路や上下水道などの社会基盤は、公共が主体となり計画的に整備を進め、その利便性は

年々向上しています。

しかし、路線バスの減便や撤退などに見られるように公共交通の利便性は低下しています。公共交通は、日常生活に不可欠な社会基盤であり、町のにぎわいを促す動脈としての役割を果たしています。暮らしを支える社会基盤の一つとして、地域公共交通の充実を図る必要があります。

**Q**：秦野駅や二宮駅への乗り入れのために町は何を取り組んでいるの？

**A**：関係する市町や住民・利用者、交通事業者、行政などで構成する広域的な地域公共交通会議を28年度に設置できるよう検討を進めています。

【解説】マイカーの普及により公共交通が衰退し、それを補うためにオンデマンドバスが誕生しました。独立採算で運行しているバスやタクシーへの影響は最小限にしなくてはなりません。バスよりも安く便利になった結果、バス路線がなくなってしまうたら元も子もありません。公共交通は、みんなでつくり、守り、育てていかないと持続可能な公共交通となりません。「自分は車があるから」、「運転を頼める人がいるから」ではなく、本当に必要となるとき、使いたい人がいつでも使えるように、皆さんのご理解、ご協力をお願いします。